

資料提供
広報取材依頼

情報提供日	令和6年5月7日	
問い合わせ先	松代・鬼村鉱山等調査研究協議会事務局 大屋まちづくりセンター 0854-82-5580	松代・鬼村鉱山等調査研究協議会 事務局長 伊藤 康浩 090-7973-2198

「松代鉱山・鬼村鉱山とその関連遺構（トロッコ軌道・静間駅・和江港）」に関する学習会（第2回）を開催します

第2回は、当時の鉱山関係者が、鉱山や鉱山が地域に与えた影響を語ります！！

1. 行 事 名	松代・鬼村鉱山とその関連遺構（トロッコ軌道、静間駅、和江港）に関する学習会
2. 目 的	住民や当時の鉱山関係者等の協力を得て、松代・鬼村鉱山およびその関連遺構に関する詳細な調査研究を行うこと
3. 開催（実施）期間	令和6年5月18日（土）
4. 開催（実施）時間	協議会・・・午後6時00分～6時20分 学習会・・・午後6時30分～8時30分
5. 開催（実施）場所	大屋まちづくりセンター（大田市大屋町大国2903-1）
6. 主 催	松代・鬼村鉱山等調査研究協議会
7. 協 力	大田市、大田市教育委員会 久利町・大屋町・静間町・長久町自治協議会
8. 参加・入場者数	100名
9. 行事の内容	（全体の概要、特徴的なものなど） ・明治期～昭和40年代にかけて石膏を産出した、当市の「鬼村鉱山」（大屋町）、「松代鉱山」（久利町）について新たな資料が見つかり、両鉱山で産出された石膏がセメントの原材料としてインフラ整備等に用いられ、日本の近代化や高度成長を支えたことがわかってきました。 ・このことを受け、市と地元自治協議会では本格的な調査・研究のための標記の協議会を立ち上げて、松代・鬼村鉱山およびその関連遺構（トロッコ軌道、静間駅、和江港）に関する調査研究を進めています。 ・先月開催した第1回学習会には、市内外より100名あまりの参加があり、鉱山関係者や地域住民から貴重な情報が寄せられました。 ・このたびの学習会では、本会アドバイザーである中村唯史さん（三瓶自然館学芸員）、阿部志朗さん（島根地理学会副会長／県立大田高等学校長）がコーディネーターとなり、鉱山関係者3名と対談して、往事の鉱山の様子や、鉱山と地域のかかわりに迫ります。 ・事前の広報および当日の取材をよろしくお願いします。
10. その他	・取材いただける場合は、事前にお知らせください。

日本の近代化、高度経済成長を支えた

鬼村鉱山・松代鉱山 学習会

トロッコ

(専用軌道)

静間駅

(積み出し駅)

和江港

(積み出し港)



三瓶自然館サヒメル

中村 唯史 さん

島根地理学会副会長
県立大田高校 校長

阿部 志朗 さん

とき 5月18日(土)18:30~20:30

ところ 大屋まちづくりセンター

入場無料

申し込み 大屋まちづくりセンター (0854)82-5580
または、QRコードよりお願いします。

